

水道局の運営にあたって

—取組姿勢—

各家庭の蛇口に水を届ける水道システムは、水をつくる浄水場やその水を運ぶ管路などの水道施設が適切に維持・管理され、そのすべてが繋がってはじめて機能します。

札幌の水道事業は、高度経済成長と急速な人口増加に対応して、水道施設を整備してきましたが、今後は、これらの更新に向けた取り組みを加速していく必要があります。また、地震など自然災害や事故等にも適切に対応していかなければなりません。

これらの課題は一朝一夕に解決できるものではなく、長期的な視点に立って計画的に事業を進めていくことが必要です。そこで、実施プランでは、中長期の課題や方向性についても明らかにした上で今年度に取り組む事業等をお示しすることで、利用者の皆さまに事業の背景や必要性について理解を深めていただきたいと考えております。

「安全でおいしい水をいつでも安心して飲むことができる」という信頼に応え、将来にわたって持続可能な強い水道システムを実現するため、実施プランに掲げた事業等を中心に全職員が一丸となって取り組んでまいります。

—最重点取組項目—

- 1 施設の更新や耐震化に向けた事業の実施、計画の策定検討
- 2 更新等の財源確保のための財務基盤の強化
- 3 次世代の水道技術者への知識・技術の継承

平成 25 年(2013 年)4 月

札幌市水道事業管理者
水道局長 長利 秀則